

— 平成 30 年度赤十字血液シンポジウム —

# 第 30 回北海道輸血シンポジウム

## テーマ 「 輸血・細胞治療の安全対策と新知見 」

開催日：平成 30 年 7 月 6 日(金)・7 日(土)

会 場：日本赤十字社北海道ブロック血液センター3 階研修室

(札幌市西区二十四軒 2 条 1 丁目 1 番 20 号)

### ▶ 7 月 6 日 (金)

13:00-13:05 **開会の挨拶** 牟禮 一秀 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)

13:05-14:45 **I 幹細胞移植・再生医療の進展と課題**

司会：牟禮 一秀 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)  
木村 貴文 (日本赤十字社近畿ブロック血液センター)

1. 北海道臍帯血バンクの現状と課題  
牟禮 一秀 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)
2. 造血幹細胞の臨床成績 - HLA 一致度、移植ソースの影響 -  
杉田 純一 (北海道大学病院血液内科)
3. 造血幹細胞移植に係るソース別コーディネーター業務  
～造血細胞移植コーディネーター(HCTC)の立場から～  
山崎 奈美恵 (札幌北楡病院医療連携室)
4. ～北海道で受けられる国内最先端の再生医療～  
「幹細胞による新しい治療の可能性について」  
白水 郁也 (釧路孝仁会記念病院再生医療室)
5. 羊膜由来間葉系幹細胞の治療応用  
大西 俊介 (北海道大学大学院医学研究院内科学講座消化器内科学教室)

14:45-15:00 **休憩**

15:00-15:20 **トピックス①** 司会：松崎 浩史 (福岡県赤十字血液センター)

採血管管理のイノベーション  
山本 哲 (北海道赤十字血液センター)

15:20-16:40 **II 細菌検査と輸血感染の防止**

司会：佐竹 正博 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)  
松林 圭二 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)

1. 医療機関における細菌検査の現状と今後の展望  
渡 智久 (旭川医科大学微生物学講座)
2. 血液製剤汚染菌株の解析～*Lactococcus garvieae*を例に～  
小堺 萌 (日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所)
3. 高感度細菌遺伝子スクリーニング法  
吉政 隆 (日本赤十字社北海道ブロック血液センター)
4. 輸血後細菌感染の現状と対策  
後藤 直子 (日本赤十字社血液事業本部)

## ➤ 7月7日(土)

### 9:00-10:30 Ⅲ ウイルスと宿主の相互作用

司会：東 寛 (旭川医科大学小児科学講座)

1. エボラウイルスの細胞内侵入機構の解明  
南保 明日香 (北海道大学大学院医学研究院細胞生理学研究室)
2. 免疫受容体によるウイルス感染制御の構造基盤  
前仲 勝実 (北海道大学大学院薬学研究院生体分子機能学研究室)
3. HLA と肝炎ウイルス関連疾患  
徳永 勝士 (東京大学大学院医学系研究科人類遺伝学分野)

### 10:30-11:10 トピックス② 司会：谷 慶彦 (大阪府赤十字血液センター)

ダニ媒介脳炎の最新知見：日本に常在する感染症  
好井 健太郎 (北海道大学大学院獣医学研究院公衆衛生学教室)

### 11:10-11:50 トピックス③ 司会：入田 和男 (日本赤十字社九州ブロック血液センター)

輸血に関連した医療関連感染症対策  
高橋 聡 (札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座)

### 11:50-13:00 昼 食

### 13:00-13:40 特別講演 司会：池田 久實 (北海道赤十字血液センター)

血液事業の展望、改革の要点  
高橋 孝喜 (日本赤十字社血液事業本部)

### 13:40-15:10 IV 大量出血症例に対する輸血治療 —日本輸血・細胞治療学会北海道支部特別講演会—

司会：藤井 聡 (旭川医科大学臨床検査医学講座)  
三浦 邦彦 (手稲溪仁会病院臨床検査部)

1. 心臓外科領域における ROTEM を用いた適切な輸血治療  
～クリオプレシピテートの有用性～  
伊勢 隼人 (旭川医科大学外科学講座心臓大血管外科学分野)
2. 産科大量出血におけるフィブリノゲン製剤の投与効果  
松永 茂剛 (埼玉医科大学総合医療センター産婦人科)
3. 重症外傷患者に対する輸血療法の現状  
齋藤 伸行 (日本医科大学千葉北総病院救命救急センター)

### 15:10-15:15 閉会の挨拶 山本 哲 (北海道赤十字血液センター)

参加は無料です。参加される方は、別紙により事前に参加申込をお願いします。

☆ 本シンポジウムは、次の制度の単位となります。

日本輸血・細胞治療学会が指定する認定制度、日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度もしくは日病薬病院薬学認定薬剤師制度のどちらか、日本医師会認定生涯教育制度<sup>※</sup>、日本臨床衛生検査技師会生涯教育研修制度<sup>※※</sup>

※ 本シンポジウムは北海道医師会の承認を得て、日本医師会生涯教育講座(5単位)、カリキュラムコード：7(医療の質と安全)・8(感染対策)・10(チーム医療)・11(予防と保健)・12(地域医療)・16(ショック)・57(外傷)として開催します。

生涯教育制度の取得単位登録には、氏名以外に「医籍登録番号」が必要です。受付時に忘れずにご記入願います。

※※ 日臨技生涯教育研修制度	一般教育研修課程	専門教科	点数 30
----------------	----------	------	-------

主 催：日本赤十字社北海道ブロック血液センター、日本輸血・細胞治療学会北海道支部、北海道輸血医療研究会  
後 援：北海道、北海道臨床衛生検査技師会、札幌市医師会

平成 30 年度赤十字血液シンポジウム  
**-第 30 回北海道輸血シンポジウム-**  
 参加申込書

送信先：北海道輸血シンポジウム事務局 行  
 （日本赤十字社北海道ブロック血液センター 総務部 総務企画課 企画係）  
FAX：011-613-4131

日 時：2018 年 7 月 6 日（金）13:00～16:40

7 日（土） 9:00～15:15

会 場：日本赤十字社北海道ブロック血液センター3 階研修室

（北海道札幌市西区二十四軒 2 条 1 丁目 1-20）

テーマ：『輸血・細胞治療の安全対策と新知見』

施設名： \_\_\_\_\_

連絡者： \_\_\_\_\_ TEL： \_\_\_\_\_

参加者氏名	所 属	職 種 (○をつけて下さい)
		医師、薬剤師、検査技師、 看護師、その他
		医師、薬剤師、検査技師、 看護師、その他
		医師、薬剤師、検査技師、 看護師、その他
		医師、薬剤師、検査技師、 看護師、その他
		医師、薬剤師、検査技師、 看護師、その他
		医師、薬剤師、検査技師、 看護師、その他
		医師、薬剤師、検査技師、 看護師、その他

※開催準備の都合上、**6月22日(金)**までに FAX にてお申し込み下さい。ご都合により期日までの申し込みができない場合は、シンポジウム当日、会場で受付いたします。

シンポジウム2日目：7月7日（土）の

# お弁当予約販売のご案内

シンポジウム2日目、7月7日（土）のプログラムは、9:00 から 15:10 までとなっており、途中、お昼休み（11：50～13：00 予定）を挟んでの開催となります。

シンポジウム会場周辺は、レストラン等の食事できる場所が非常に限られております。

参加される皆様は、各自昼食をご用意いただくか、シンポジウム初日（7/7）に会場でお弁当をご予約いただきますようお願いいたします。

お弁当は、ご予約分のみ販売となります。申込方法等については、以下をご覧ください。

## 【申込方法】

### ○申込受付

平成 30 年 7 月 6 日（金）14:30～15:30 <北海道輸血シンポジウム1日目>

※ 7日（土）の当日販売は、行っておりません。あらかじめご了承ください。

### ○受付場所

日本赤十字社北海道ブロック血液センター3階研修室 出入り口付近 <シンポジウム会場>

### ○お弁当代金

500 円（税込）

### ○申込方法

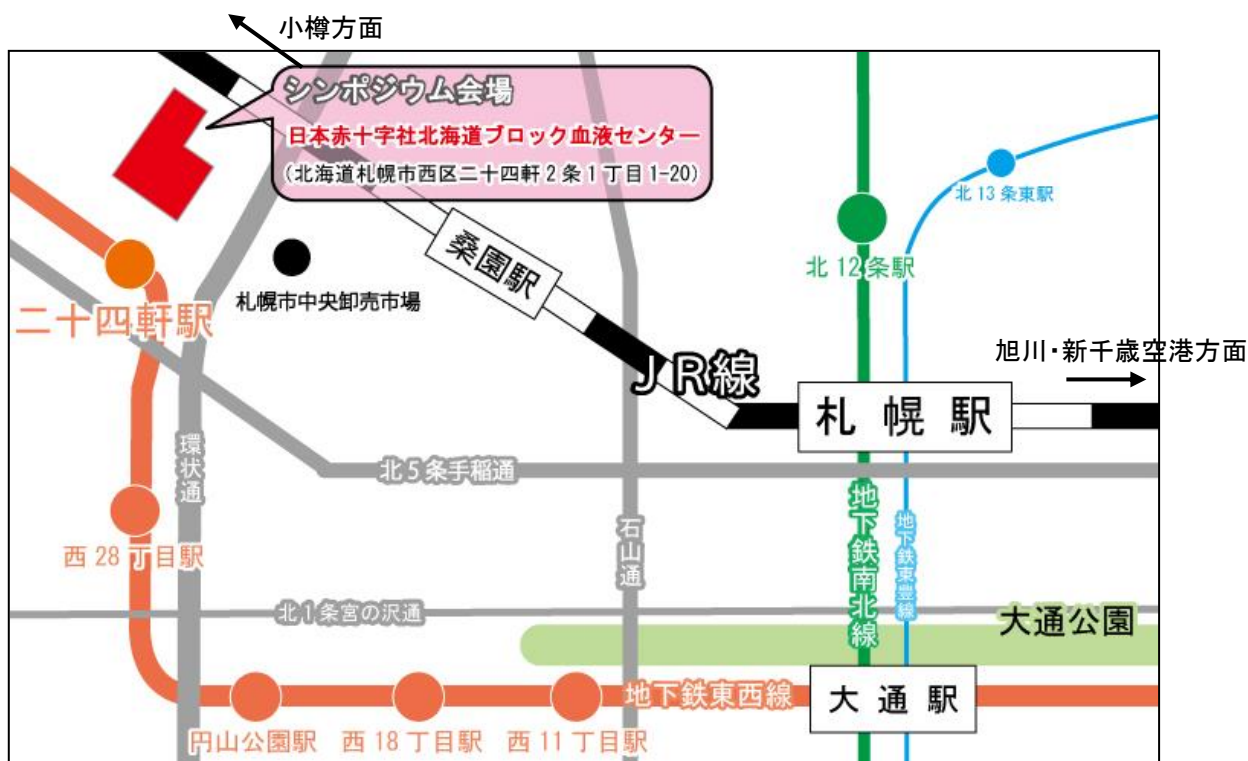
申込受付時、現金と引き換えに『お弁当引換券』をお渡しします。

引換券は、翌日（7日）お弁当を受け取る際に必要となります。なくさないようご注意ください。

### ○受取方法

シンポジウム2日目の7日（土）11:30頃から、シンポジウム会場にお弁当の受取ブースを設置しますので、『お弁当引換券』を渡してお弁当をお受け取りください。

## 『会場アクセス』



広域図

### 【シンポジウム会場】 日本赤十字社北海道ブロック血液センター



近隣図

<会場までの順路 (JR札幌駅から)>

○JR札幌駅から地下鉄に乗り換え、地下鉄南北線「さっぽろ駅」から「大通駅」まで乗車



○「大通駅」で地下鉄東西線「宮の沢」行に乗換え「二十四軒駅」まで乗車



○「二十四軒駅」2番出口を左に出て徒歩約10分

シンポジウム会場には駐車場がございません。会場へお越しの際は、公共の交通機関をご利用いただきますようお願い申し上げます。